

参加費無料・要申込

茅文化継承 シンポジウム

2026年

9月19日(土)

会場 豊田市博物館 セミナールーム

地域に残る茅葺き民家は近年、環境にやさしい建築として再評価されています。

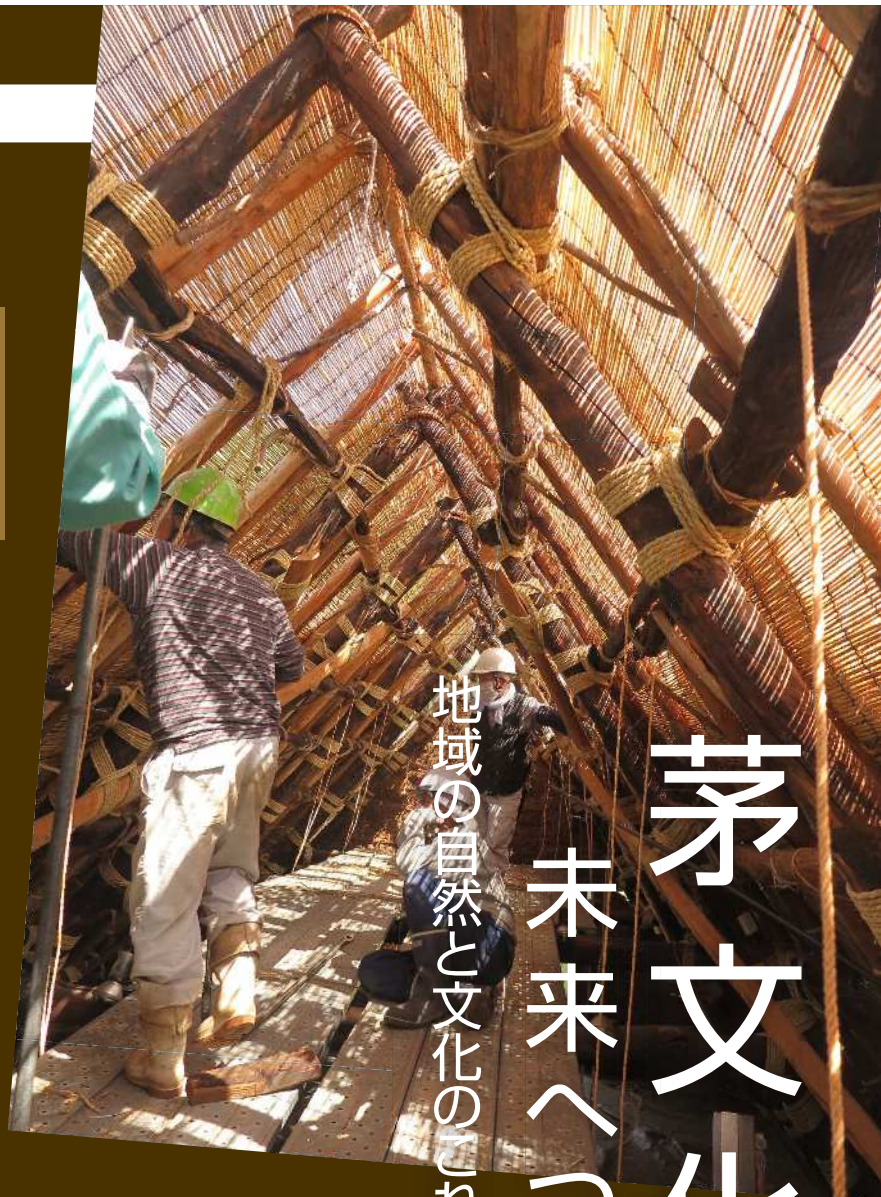
茅葺き屋根を維持するためにはその材料であるススキなどの茅(かや)を収穫する草原(茅場)が必要です。

今回は、岐阜県白川村(世界遺産合掌集落)と広島県芸北地区で活動されているゲストをお招きし、

茅葺き屋根と茅場の維持を通した文化継承やつながり作りの可能性を考えます。



KAYASUKE



地域の自然と文化のこれからを考える

茅文化 未来へつなぐ

シンポジウム プログラム

13:35-14:10 講演① 白川村の取組

尾崎 達也 氏(白川村教育委員会)

14:10-14:45 講演② 芸北茅プロジェクト

八木 洸也 氏(NPO法人西中国山地自然史研究会)

14:55-15:25 講演③ かやすけ&足助屋敷の取組

立松 昌朗、大河原 有史(合同会社かやすけ)

15:25-15:55 質疑応答 & トークセッション

同時開催 ミニワークショップ

「茅葺き道具を使ってみよう」

①10:00-10:30 / ②10:30-11:00

各回定員4名・500円

実物大模型への茅葺き・道具体験

※対象:小学生以上(小学生は保護者同伴)

申込みフォーム



■お問合せ:kayasuke2024@gmail.com

■申込みは申込みフォームにて

主催:豊田市役所地域活躍部 足助支所 / 企画:合同会社 かやすけ